

「お笑い」の表現を体験

豊玉中3年4人がコントに挑戦

対馬市公会堂で17日に開催される中学生弁論大会「第18回対馬少年の主張大会」で、同市立豊玉中の3年生4人がコントを披露する。お笑いのステージに向けて4人は稽古に励んでいる。

【綿貫洋】



コントに挑戦する（左から）龍井さん、築城さん、原田さん、松井さん―豊玉中学校提供

あす対馬 弁論大会でステージ披露

弁論大会の審査時間 したくて出演希望した中に講演する佐世保市 海老原靖芳さん(66)が、講演の時間を使って、笑いに体験してもらおうと、コントをやることを発案。市教委を通じて参加者を募り、4人が手を挙げた。コントに挑戦するの

放送作家が指導

は築城盛敬さん、龍井で観客を笑顔にした陽平さん、松井心助さん、原田剣さん。築城さんと龍井さん、松井さんと原田さんがそれぞれコンビを組んで、テレビで数々の人気お笑い番組を手がけてきた海老原さんが書いた「将来の夢」と「落し物」を演じる。4人は貴重な体験を

豊玉中の原田辰哉校長は「素晴らしい取り組みで、生徒の生き方に大きな影響を与えてくれるのでは」と期待している。弁論大会は午後1時から、海老原さんの講演は同2時45分からの予定。